

放射線技師から教わる 画像の見方

12月27日（水）に、おかたに病院で医系学生のための学習会を行いました。当日は、看護学生25名・薬学生1名の計26名の参加でした。

今回の学習会は、放射線技師さんに講師をしてもらい、レントゲン撮影・CT・MRIなどの画像の見方や画像からわかる疾患などを学びました。

まず一番大切なのは、基本の画像を覚えることです。解剖を理解することももちろん必須です。その上で基本の臓器の位置や形、書き方とどう違うのかを見つけると、その疾患がみえてきます。

実際に基本の画像と疾患のある画像を見比べ、学生さんにも一緒にどこがおかしいのかを考えてもらいました。

毎年看護師の国家試験にも、視覚素材問題は出ているので、過去問もいくつか解説してもらいました。頭部CTの問題は国家試験にもよく出題され、脳の出血部位によって画像に特徴があるので、その特徴をつかんでおくようにすると良いと説明してくれました。「クモ膜下出血」「硬膜下出血」「硬膜外出血」などそれぞれの画像を実際に見ながら解説してくれ、実際に見るとその特徴がよくわかりました。CT以外にも、MRI・超音波検査（エコー）・X線透視撮影など、画像を用いる様々な検査を1つ1つ詳しく説明してくれました。それぞれの目的や違いがよくわかりました！



講義後は、グループごとに順番で放射線科へ行き、MRIやCTなどの機械を実際に見学に行きました。病院へ就職するまではなかなか見る機会のない放射線科なので、貴重な経験になりました！

見学を待っているグループは、講師にわからなかったことや、聞きたいことを熱心に質問していました。国家試験を控えた看護学生さんは特に真剣な様子でした。



今日学んだことが2月の国家試験に役立つように願っています！！＼(^o^)/

年末年始忘れ交流会

今年最後の学生企画だったので、学習会後に美味しいケーキを食べながら交流しました(^_^)

同じ学校の先輩・後輩や、違う学校・学部、奨学生の同同士など、皆さん思い思いに話していました。

今年最初の学習会は2/24(土)に、吉田病院で行います。またたくさんのご参加おまちしています(^_^)

